

令和3年4月20日

北九州市立自然史・歴史博物館（いのちのたび博物館）、徳島県立博物館、大阪市立自然史博物館同時発表

報道関係 各位

## 二枚貝と共生する奇妙な形をしたアンモナイトの新種を発見

この度、北九州市立いのちのたび博物館、徳島県立博物館、大阪市立自然史博物館が所蔵する香川県から発見された化石を、当館と徳島県立博物館で共同研究した結果、新種のアンモナイトであることがわかり学術誌に掲載されたので、実物化石を特別公開します。

### 記

- 1 発見の要点
  - ・複雑な巻き方をした奇妙な形のアンモナイトの新種
  - ・「ディディモセラス・モロズミイ」と命名
  - ・讃岐山脈をつくる恐竜時代の地層では41年ぶりのアンモナイトの新種
  - ・日本固有のS字状をしたアンモナイト（プラビトセラス）の進化を解明する上で重要
  - ・殻の表面に付着する二枚貝と共生関係にあった
- 2 産地 香川県東かがわ市
- 3 時代 中生代白亜紀後期カンパニアン期（約7400万年前）
- 4 一般展示  
期間：令和3年4月23日（金）～令和3年6月6日（日）  
場所：北九州市立いのちのたび博物館、常設展内  
開館時間：9:00～17:00（入館は16:30まで）  
（徳島県立博物館、大阪市立自然史博物館でも4月23日より展示）
- 5 詳細情報 別紙参照



### 問い合わせ先

いのちのたび博物館（北九州市立自然史・歴史博物館）〒805-0071 北九州市八幡東区東田 2-4-1  
電話：093-681-1011 担当：自然史課 学芸員 御前（みさき）